

大学コンソーシアムやまがた幹事会議事録（平成23年度第6回）

日 時 平成23年10月11日（火） 11:00～12:20

場 所 ゆうキャンパス・ステーション及び農業大学校の各TV会議室

出席者 委員長 安田 弘法（山形大学）

副委員長 樋口 雅子（東北芸術工科大学／五十嵐眞二副委員長代理）

金内 良一（保健医療大学）

草苺 信博（米沢女子短期大学）

委 員 山崎 彰（事業評価委員会委員長／山形大学）

下平 裕之（企画会議委員長／山形大学）

富樫 栄一（東北公益文科大学）

田中ふみ子（羽陽学園短期大学）

柴田 洋雄（放送大学山形学習センター）

山口 秀雄（産業技術短期大学校）

横尾 信彦（農業大学校／岸善一委員代理）

後藤 紀夫（山形県）

勝見 英一朗（山形工科短期大学校）

欠席者 副委員長 大川 健嗣（東北文教大学）

委 員 瀬川 透（鶴岡工業高等専門学校）

議事に先立ち、委員長から、本日の議事録署名人を保健医療大学の金内副委員長と東北公益文科大学の富樫委員にお願いしたい旨提案があり了承された。

[報告事項]

1 平成23年度大学コンソーシアムやまがた事業中間報告

下平委員及び事務局から資料1に基づき報告があった。

（主な意見交換内容）

- ・ 「やまがた夜話」は記録しているのか。

→毎回講師の確認を得た上で、Ustream（動画共有サービス）で配信するとともに記録している。インターネット環境があれば誰でもいつでも聴講できる。

- ・ 「やまがた夜話」の講師はどのように選定しているのか。

→今年度から基本的に各機関の研究者に講師をお願いしている。具体的には企画会議で毎月のテーマを決定した上でそのテーマに相応しい講師を事務局が直接依頼したり、各機関に推薦依頼している。

[協議事項]

1 ゆうキャンパス・ステーションの継続について

安田委員長から概ね次のような発言があった。

- ・ 昨年5月にオープンした「ゆうキャンパス・ステーション」の賃貸借契約期間は来年4月19日までとなっており、契約期間満了6ヶ月前(10/19)までに「特段の意思表示」がない場合には、さらに2カ年間同条件で更新されることになっている(資料2-6 契約書参照)。
- ・ 去る7月8日に開催された総会では、結城会長から「ゆうステ」の活動状況や来年度以降の活動の可否について話題提供があり、学長方から「ゆうステは様々な事業で成果をあげてきているのではないか」、「2年間で活動を終えるのはもったいない」等の意見があった(配付資料総会議事録(p3)参照)。
- ・ ついては、本日の幹事会で「ゆうステ」の契約継続について審議願いたい(根拠；会則第28条(2))。

次いで事務局から、資料2-1~2-6について説明があり、委員長から諮られた結果、次の3点が決定された。

- ・ 平成24年4月19日までの契約期間となっているゆうキャンパス・ステーションの賃貸借契約を更新する。
- ・ 平成24年度の「ゆうキャンパス・ステーション」の運営経費に係る各機関負担は、現時点では、山形県及び4つの県立機関(産業技術短期大学校、農業大学校、保健医療大学及び米沢女子短期大学)は0円とする。その他の機関は原案(資料2-1)のとおりとする。なお、県立機関においては引き続き負担金の確保に努力願う。
- ・ このことについては総会の書面審議で改めて諮る。
* なお、県立機関の負担金を0として総会に提案するという案については東北公益文科大学から反対があった。又、東北芸術工科大学においては、代理出席であったため、保留との表明がなされた。

(主な意見交換内容)

- ・ 契約の更新にはあえて反対まではしないが、費用対効果の観点等から経費負担はできない。これは本学の学内の理事で協議した結果である。運営経費負担金案とあわせての議案であれば、反対せざるを得ない。
- ・ 本学では改めて学長と相談し負担できないとの判断をした。本学にとって距離的に離れており学生にはあまり使い勝手が良くない。
- ・ 県立大が負担できないという理由が分からない。フリーライドは良くない。
- ・ 更新については賛成。ゆうステの設置については山形大と芸工大が中心となった経緯があった。県立大の仕組みとして負担できないのは分かる。ただ、負担できないからと言

って利用について排除すべきではない。

- ・ コンソの事業でゆうステでないと絶対できない事業はないのでは。
- ・ 2年前の学長共同宣言で設置することとなったゆうステは“学生のたまり場”にしたいという建前がある。また、ゆうステの“顔”となる場が必要とのことから設置されたという経緯もある。
- ・ 事業評価委員会で学長方と意見交換した際は、コンソとして広報を共通にやって欲しいという意見が多かった。
- ・ ゆうすては「顔が見える事業」として努力してきたのではないか。
- ・ 10/19までに契約更新の判断をするのはあまりにも時間がない。
- ・ 本学は小規模校で10万円の負担は厳しいがこれまで同様負担させていただく。
- ・ 本学は昨年加盟させていただいた小さな学校であるがこの環境でいろんな交わりをお願いしたい。ただこの予算で同じ事業ができるか厳しい状況だ。

[その他]

次回開催について

次回会議は、日程調整の上、開催することとなった。

以上

【配付資料】

資料 No. なし 幹事会委員名簿
" 大学コンソーシアムやまがた会則
平成23年度 大学コンソーシアムやまがた総会議事録(平成23年7月8日)

資料1 平成23年度大学コンソーシアムやまがた事業中間報告
資料2-1 平成24年度ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金(案)
資料2-2 平成24年度ゆうキャンパス・ステーション運営費収支予算書(案)
資料2-3 平成23年度ゆうキャンパス・ステーション運営費収支予算書
資料2-4 2010 ゆうキャンパス・ステーション(4月~3月)
資料2-5 2011 ゆうキャンパス・ステーション(4月~3月)
資料2-6 貸室賃貸借契約書(写)
参考配布(各種事業等チラシ)

やまがた夜話、最上川俯瞰講義、進学相談会、合同企業説明会、東北アート・デジタルフェスティバル、ゆうステ案内

議事録署名人

山形大学理事・副学長

安田弘法



山形県立保健医療大学理事・事務局長

金内良一



東北公益文科大学事務局長

富樫栄一



印